

これで安心！ ピピ島&離島ホッピングツアー

バスは13人乗りのトヨタのワゴン車

“当日のご案内とスケジュールポイント”



集合場所はご宿泊先ホテルロビー **集合時間**は厳守！いないと置いて行くので注意！
ホテルロビーが広い場合は、①車のつく場所、②ベルボーイ近辺、
③受付スタッフ前が待ち合わせのポイント！
集合場所が混雑している場合は、バウチャーの裏やメモ紙に少し大きく
「Phi Phi Mr. Taro Yamada 例」など、手書きで書いて
用意するのわかりやすい合図です。お迎えの運転手に見せて！



※シャトルバスは混載車のため、他のホテルを巡回しながらご参加者をピックアップするため遅れることがあります。20分過ぎても来ない場合はご連絡下さい。



港に到着！



- ・港に到着時にガイド&スタッフがお客様確認、色のついたリストバンドをお渡し致します。それが、今日のツアー組み合わせになります。(お客様名とホテル名で確認) リストバンドの色が目印！
- ・マヤビーチコースは受付で、国立海洋公園入島料をお支払い下さい。(大人 400 バーツ、子供 200 バーツ)



酔い止め薬

無料だよ！

- ・無料のコーヒー&紅茶、スナックでご参加者が集まるまでしばらくの休憩です。売店もあります。
- ・船酔いが心配な場合は、酔い止め薬を2錠もらい1錠は服用して、もう1錠は昼食後に服用(黄色い錠剤)
- ・港のコンビニは水着やサンダルなど、島へのお出かけグッズが買えます。価格も優良販売



トイレ

海に行く
お出かけグッズ
スマホ入れもあるよ



紛失は
罰金

- ・フィンのレンタルもあるので港でサイズを確認して乗船（紛失は 1500 バーツの罰金）
 - ・乗船前にトイレも済ませ、酔い止めを服用して日焼け止めを塗って、ゆとりの出発！
 - ・港は専用港なので、多数のスタッフがフォローしてくれるので安心です。何かあれば受付に！
- ※ツアーのポイントはトイレ：港、ボート、マヤビーチ、昼食のレストラン、カイ島にあるので困らないです。



- ・休憩中にリストバンドの色でお呼び致します。集合していただきボートのナンバーと今日の日程をご説明。
- ・カイ島でのマリンスポーツの説明がほとんど、ジェットスキーのレンタルは気をつけて！
- ・説明が終わったら停泊中のボートに先に乗り込みベストポジションをゲット！1日が決まる！



- ・スピードボートは跳ねたりするので、座る場所は運転手より後席がおすすめ！先端の席は日焼け席
- ・ボートが走り出すとエンジン音が響くので隣同士でしゃべれる程度、上下に跳ねるので気をつけて！
- ・タイの女性は水着の上に、Tシャツ短パン&ライフジャケットを着て泳ぐのが普通！（服を着たまま）

港から2つのコースに分かれます。

- ・ピピ島&マヤビーチ&カイ島コース（国立公園入島料あり：大人 400 バーツ、子供 200 バーツ）
ガイドさんは日本語も上手なガイドさんがご案内（ガイドさんが休日の場合は、英語のみ）
- ・ピピ島&ヤオ島&カイ島コース（国立公園入島料なし）
ピピ・レイ島を船内観光、ピピ・ドン島に上陸、ヤオ島周辺のシュノーケルポイントやカイ島を回るコース



- ・マヤビーチやピピ島のビーチ上陸の際は、ガイドが戻りの時間を書いた紙でご案内致しております。
- ・船内のクーラーボックスには無料の水とジュースをご用意！自由に飲んで！ ※船内はミニトイレ完備
- ・シュノーケルギアはボート内で貸し出し、紛失すると 1000 バーツの罰金です。気をつけて！



午後は
フルーツの
おやつ

- ・昼食場所は、みんなに付いていくとスタッフがテーブルにご案内、ビールなどの飲み物は別料金
- ・食べ終わったらビーチで休憩。カイ島ではスイカやパイナップルなどのおやつをご用意！売店も完備
- ・カイ島を出発したら帰港、リストバンドやシュノーケルギアを返却



忘れ物に
注意!

港に到着！港からホテルへお帰り

ボートから出るときは忘れ物を確認！

港にホテル名を記載した運転手がお待ちいたしております。トイレに行きたい場合は運転手に一言「トイレット」と伝えたい方が良いでしょう。

ホテルまでは45分～60分以上かかることが御座います。夕方は渋滞するので、夜のショーのご予約は要確認です。

ホテルに到着！車内の忘れ物を確認！

スマホなど忘れると他のお客様が持って帰るので出てくることは珍しいです。

シュノーケリングの心得！

シュノーケル&マスクはボート内で貸し出しをしております。まずは海に入ってマスク内のレンズを洗い、髪の毛を濡らして髪を上げてからマスクは装備、その際に髪の毛が1本でも入っていると、そこから水は入ってきます。マスクに水が入ったときは海に潜り、マスク上部を指で押さえ、鼻からマスクに空気を入れるとマスク下から水が排出されます。ライフジャケットを着ていれば、沈まないでマスクを上げて水を出せば簡単です。

ライフジャケットは、左右のロックをして、股の間にもベルトを通しロック！忘れてしまうと泳ぐときに首までライフジャケットが上がり苦しくなることがあるので注意。

